

はじめに



未曾有の被害をもたらした東日本大震災からあっという間に2年半が過ぎ、大きな喪失や哀しみを抱えながら、皆、より良い未来を模索しています。立命館大学大学院応用人間科学研究科は、10年にわたって、東日本の各地で対人援助プログラムを実施し、家族や支援者、コミュニティに寄り添い、復興の物語を創っていく人々の声に耳を傾けながら、社会変化のwitness（目撃者・証人）として存在し続けることができたらと願っています。

2013年11月1日(金)～11月3日(日)まで、家族をテーマに漫画パネル展示や漫画トーク、うたやアートによる家族応援セミナー、支援者支援セミナーを開催します。どなたでもお越しいただけます。関心のある方は、是非お越しください。



団 士郎 家族漫画展

日時：11月1日(金)午後～
11月3日(日)午前

会場：中央通商店街「おでんせフラザ」
団士郎先生の、「木陰の物語」の原画パネルを展示しています。ゆっくり楽しんで鑑賞してください。ご来場の皆さんに小冊子「木陰の物語」のプレゼントもご準備しています。

団 士郎の漫画トーク

～「木陰の物語」の物語～

日時：11月3日(日) 10:00～11:30

会場：中央通商店街「おでんせフラザ」

講師：団士郎先生

物語には描かれた部分と、描かれなかった部分がある。描ききれなかったものや、あえて描かなかったものも、家族のたぐひ木陰には存在する。そんな物語を、スライドショーマンガに併せてお話しします。

支援者交流会

～長続きする家族支援のために～

日時：11月2日(土) 10:30～12:00

定員：10名

会場：お問い合わせください。(Email : rouran@creotech.co.jp)

ファシリテーター：村本邦子先生

うたと遊びのワークショップ
～みんなでうたおう ヤッホッポー～

日時：11月2日(土) 13:00～13:45

会場：清寿荘仮設 集会所

講師：鶴野祐介先生

日本のわらべうたや子守唄、童謡と一緒に歌い、あそびましょう。体も心もはずむうた、ゆったりしみじみ歌ううた、楽しいひとときをご一緒に！

「アートで遊ぼう」

日時：11月2日(土) 14:00～15:30

会場：清寿荘仮設 集会所

講師：村本邦子先生

「タッチドローイング」という誰でも簡単にできる方法を使って、心のままに指を動かし、現れてくる色や形の表現を楽しみましょう。自分だけの絵本にすることもできますよ！

講師・助言者のプロフィール

団 士郎

立命館大学大学院応用人間科学研究科教授。児童相談機関を経て独立、「仕事場D・A・N」主宰。家族療法の実践、支援者研修をしながら、漫画家としても多数作品を発表している。「家族力×相談力」(文春新書)、「家族の練習問題」1~4(ホンフロック)など。

村本 邦子

立命館大学大学院応用人間科学研究科教授。臨床心理士。1990年女性ライフサイクル研究所を設立し、子育て支援、女性と子どものカウンセリング(とくに虐待やDV)、支援者支援に取り組んできた。「大人びてきたわが子に戸惑ったとき読む本」(PHP)、「暴力被害と女性・理解、脱出、回復」(昭和堂)、「しあわせ家族という嘘」(創元社)など。

鶴野 祐介

立命館大学大学院応用人間科学研究科教授。伝承児童文学(子守唄・わらべうた・民間説話など)の人間形成論的意味を研究している。「伝承児童文学と子どものコスモロジー」(昭和堂)、「子守唄の原像」(久山社)、「スコットランド民話集」(朝日出版)など。

2013年
みやこ

東日本

家族応援

プロジェクト



事前申し込み不要

参加費無料



日時 : 11月1日(金)~11月3日(日)

主催 : 立命館大学大学院応用人間科学研究科